

突哨山運営協議会 2019年度 第1回臨時総会

2019年9月17日(火) 18:30～ 旭川市職員会館

出席者 出羽寛 舟橋健 尾崎良司 澤田勇 寺島一男 山本牧

比布町総務企画課 千葉

旭川市土木部公園みどり課 矢萩

個人6名 団体2名

委任状 黒川博義 塩田惇 工藤稔 森木邦男 工藤和彦

近文第二小学校 安藤教頭

個人5名 団体1名

合計 14名(個人11名 団体3名)

事務局 中村 富岡

総数18名に対し出席(委任状含む)14名のため本総会は成立とする。

1. 協議事項

突哨山運営協議会名義の通帳について

突哨山運営協議会名義のゆうちょ銀行通帳は、現在登録住所が「旭川市東山会計 工藤由紀子」となっています。登録の印鑑は「工藤」さんのものです。

2018年度から指定管理者(もりねっと)が会計を担当することとなり、住所と登録印の変更が必要です。変更手続きにはいくつか条件があり、そのうちの一つに規約の提出があります。規約には団体の所在地が明記されていなければならないのですが、現在協議会の規約には所在地の記載がありません。規約上の団体の所在地が通帳の登録住所となり、さらにもりねっとのような法人の住所を登録するためには登記簿の提出が必要となります。

つまり、通帳の登録住所を変更するためには規約に団体の所在地を追加し、その住所はもりねっとの登記上の住所でなければならないということになります。

前回(2019年度 第1回協議会)での協議を受け、規約に下記項目を追加することを提案いたします。

追加項目の住所はNPO 法人もりねっと北海道の登記上の住所です。

追加事項

(所在地)

第2条 この団体を次の所在地に置く。旭川市東光13条8丁目1番14号

以下、条項番号を繰り下げ。

参考資料1 添付

出羽 この件について異議やご意見等なければ拍手にて承認をお願いします。

全員 拍手

頂上の看板について

8月19日の巡回時に突哨山頂上(239m地点)のミズナラに「突哨山」と書かれた看板が掛けてありました。指定管理者(もりねっと北海道)では設置しておらず、突哨山運営協議会で承認を得たものではありません。突哨山の愛好者が好意で掛けてくれたものだと思います。どのように対応すべきでしょうか。



出羽 市の公園に第三者が勝手に看板を設置するのはまずい。かと言って、好意で掛けてくれたものをむげに外すのも忍びない。突哨山の哨の字が間違っているのも問題だ。

寺島 看板に「連絡ください」とメッセージを取り付けてみてはどうか。

出羽 それではメッセージを掛けて、設置した人と連絡をとってみてください。

2. 報告事項

活動報告(主催・共催)

主催等の表記のないのは「運営協議会」が実施

- ・7月20日 自然観察指導員研修会 コウモリ観察(北海道自然観察協議会)
<参加者:15名>
- ・7月31日 突哨山ボランティア外来種防除作業(もりねっと)
<参加者 12名>

- ・ 8月7、8日 みどりの回廊展（あさひかわ自然共生ネットワーク）
- ・ 8月20日 コウモリ観察会（オサラッペ・コウモリ研究所 北海道自然観察協議会）＜参加者：9名＞
- ・ 8月22日 近二小3・4年生 森の生き物観察。（もりねっと）
熊出没情報のため東鷹栖14線もりねっとの森で実施。
旭川市環境アドバイザー事業＜参加者14名＞
- ・ 8月26～30日 旭川大学高校 理科授業 突哨山自然観察（旭川大学高校）＜参加者 224名 1年生全クラス、3年生ライセンスコース選択者＞
- ・ 9月2日 近二小5・6年 川の生き物調査（もりねっと）
熊出没情報のため石狩川永山橋左岸広場で実施。
旭川市環境アドバイザー事業＜参加者16名＞
- ・ 9月5日 近二小3・4年生 焚き火体験（もりねっと）
熊出没情報のため東鷹栖14もりねっとの森で実施。
旭川市環境アドバイザー事業＜参加者13名＞
- ・ 9月9日 近二小5・6年生 間伐体験（もりねっと）
熊出没情報のため東鷹栖14もりねっとの森で実施。
旭川市環境アドバイザー事業＜参加者16名＞
- ・ 9月10日 大有小学校 間伐体験（大有小学校）
＜参加者：6年1組29名、引率教員3名＞
- ・ 9月11日 近二小1・2年生 森の宝探し（もりねっと）
熊出没情報のため東鷹栖14もりねっとの森で実施。
旭川市環境アドバイザー事業＜参加者16名＞

主な活動写真



7月31日 外来種防除作業



8月7、8日 みどりの回廊展



8月22日 近二小3・4年生 森の生き物観察



8月26～30日 旭川大学高校 突哨山自然観察



9月2日 近二小5・6年 川の生き物調査



9月5日 近二小3・4年 焚き火体験



9月9日 近二小5・6年 間伐体験



9月10日 大有小学校 間伐体験



9月11日 近二小1・2年生 森の宝探し

山本 大有小の活動はバス移動の費用をもりねっとの助成金で賄った。費用の面から毎年の実施は厳しいと思います。

出羽 旭大高は毎年実施するんですか。

山本 旭大高は来年も突哨山で実施したいとおっしゃっていました。

中村 毎年8月後半から9月前半にかけて近文第二小学校の突哨山活動があるが、今年は7月にクマがカメラに映ったため突哨山以外の場所で実施しました。活動としては市の環境アドバイザー事業として実施したため活動報告には掲載しませんでした。

後日、近二小の活動も掲載した方がいいとのご依頼があり、議事録には追記しました。

出羽 8月20日のコウモリ観察会は嵐で中止かと思われましたが、夕方雨が上がり、なんとか実施することができました。市に対し調査許可もいただきました。

尾崎 外来種防除についてです。フランスギクはしばらく大丈夫だと思いますが、オオハンゴンソウは今年のようなやり方をしても数は減りません。いくら根っこからやったつもりでも塊根はすごいです。突哨山でも外来植物、特にフランスギクとオオハンゴンソウについて、今後どのように対処していくのか、会議の度に検討してみたいかがでしょうか。

山本 今回オオハンゴンソウに実施したのは刈り取るという作業でした。刈り取ったものは横に束で置いてきた。それはいまでは枯れて死んでしまっています。ただし、尾崎さんがおっしゃるように来年はまた同じように再生して花をつけるでしょう。ただし、作業効率から考えると、あれで拡散を防げるのであれば、あとは刈り取りでどれだけ弱まるかということだと思います。

尾崎 オオハンゴンソウ は掘り返すしか方法がない。また種が土の中で数年間埋

まっぴいて条件がよい時に発芽するという厄介な特性がある。突哨山はまだそれほど数が多くないのでいろいろ検討してみてもいいかたでしょうか。

出羽 オオハンゴンソウ は種ができる前に刈ってしまえば、タネはダメになるんですか。

山本 地上部はダメになります。

出羽 うちの庭でも切っても切っても生えてくる。オオハンゴンソウとフランスギクは注目してみてもいいかたしょう。

山本 今日の作業の報告です。南折り返し地点近くの斜めになったエゾヤマザクラが45度ぐらゐまで傾いてきたので倒しました。根元の直径は42センチありました。切ってみたら中はスポンジ状でスカスカでした。切った木は遊歩道脇のベンチや運び出して何かに活用したいと考えています。木もれび分岐ではナラの大木の枝が折れていました。また谷渡りルート入り口では細いシラカバが真ん中から折れて道を塞いでいました。いずれも撤去しています。先日の風の影響かと思われませんが、これ以外にまとまった倒木などはありませんでした。

山本 クマの報告です。前回報告した7月のびびの路でカメラに写ったのを最後に比布跨道橋を含めて出没は確認されていません。秋になって夏とは違ふ動きが出てきます。一般的にはドングリやヤマブドウが豊作であれば大きな移動をしないのでそれほどリスクは高まらないのかなと思います。比布の方も大丈夫ですよね

澤田 毎週役場の篠原さんとカメラの確認に行っているが今の所写っていません。

出羽 他の動物は写っていますか。

澤田 人間がキノコを背負っているのが一番多いです。あとはシカとキツネが写っています。

3. 連絡事項

- ・樹木調査(10~11月)
- ・遊歩道整備(10月)
- ・間伐にともなう簡単な作業(11月)
- ・第2回協議会・忘年会(12月初旬)

出羽 次回の協議会・忘年会を12月5日(木)とします。
場所は金額も考慮して検討します。

出羽 他になければこれで終了いたします。